

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称 : アルフレッシュ-SD (Alfresh-SD)  
会社名 : 株式会社ウレシン  
住所 : 兵庫県尼崎市大庄川田町32  
電話番号 : 06-6412-3155  
FAX番号 : 06-6412-3156  
E-mail : [uresin@siren.ocn.ne.jp](mailto:uresin@siren.ocn.ne.jp)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5  
皮膚腐食性・刺激性 : 区分1  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1  
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分1(呼吸器)

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性物質・急性 : 区分3

### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
臓器の障害(呼吸器)  
水生生物に有害

### 注意書き

#### 安全対策

: 他の容器に移し替えないこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱後はよく手を洗うこと。  
(製造者、供給者又は規制所管官庁が指定する)保護手袋、衣類保護眼鏡、保護面を着用すること。  
粉塵又はミスト、蒸気を吸入しないこと。  
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
必要な時以外は、環境への放出を避けること。

### 応急措置

: 皮膚又は毛髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。  
汚染された衣類は再使用する前に必ず洗濯すること。  
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

- 皮膚に付着した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。  
 漏出物を回収すること。
- 保管：容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
 施錠して保管すること。
- 廃棄：内容物、容器は、国際、国、都道府県知事又は市町村の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。
- GHS分類に該当しない他の危険有害性  
 ：製品使用前に安全注意を読み、すべての内容を理解するまで取り扱わないこと。  
 酸性溶液との混合で中和熱を発生する。  
 金属類（アルミニウム、銅、合金類）と反応する。  
 眼に入った場合は激しい痛みを感じ、直ぐに洗い流さないと角膜が侵される。手当てが遅れたり、処置が適当でないと視力が下がったり、失明する可能性がある。  
 長期にわたって皮膚に接触すると、刺激により皮膚炎、湿疹を起こす。ミストを吸入すると気道粘膜を刺激し、シワガレ声、咽頭部の灼熱感、疼痛、激しい咳、肺浮腫を生ずる。誤って飲み込んだ場合、口腔、食道、胃部の灼熱、疼痛、まれに食道、胃に穿孔を生ずることがある。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別  
 化学名又は一般名  
 成分及び含有量

- ：混合物  
 ：水酸化ナトリウム、キレート剤、界面活性剤  
 ：

成分	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
水酸化ナトリウム	<5	化審法 (1)-410	1310-73-2
キレート剤	非公開	既存	非公開
界面活性剤	非公開	既存	非公開

### 4. 応急措置

吸入した場合

- ：咳が出る程度の時は、新鮮な空気の風通しのよい場所で体を楽にして休息させる。  
 重症の場合、直ちに医師の診察を受け、その指示に従う。

皮膚に付着した場合

- ：直ちに多量の水で洗い流すこと。  
 衣類に付着した場合、直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。  
 異常がある場合は医師の診断を受けること。

目に入った場合

- ：直ちに流水で15分以上洗い流し（コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し）、医師の診断を受けること。  
 眼球を傷つける可能性があるため、眼をこすったり固く閉じさせてはならない。

飲み込んだ場合

- ：水で口の中を洗浄し、多量の水又は牛乳、生卵を飲ませる。  
 無理に吐かせず、速やかに医師の診断を受けること。  
 （意識のない場合は口から何も与えない）

応急措置をする者の保護

- ：救助者が有害物に接触しないよう、保護具（ゴム手袋、ゴム長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する。

### 5. 火災時の措置

消火剤

- ：粉末消火器、泡消火器、二酸化炭素、水、砂

使ってはならない消火剤

- ：特になし

- 火災時の特有な危険有害性：この製品自体は燃焼しない。  
消火作業の際にはガスを吸入しないように注意する。
- 特有の消火方法：周辺火災の処置は次による。  
容器を安全な場所へ移動する。  
移動不可能な場合は、容器及び周辺に注水して冷却する。
- 消火を行う者の保護：保護具（ゴム手袋、長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する。
- 

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置：保護具（ゴム手袋、長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する。
- 環境に対する注意事項：多量に漏れた場合は、河川等に直接排出されないように、回収、詰め替え、必要に応じて酸（希塩酸、希硫酸等）での中和措置を講じる。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材：土砂等で流出防止用の堤防を作り、空容器に回収するか又は土砂等に吸収させてから容器を回収する。できるだけ取り除いた後漏出した場所は大量の水で洗い流す。  
少量の場合は、吸着剤（おがくず、土砂、ウエス等）で吸着させて取り除いた後、残りをウエス等でよく拭き取る。  
濃厚な廃液が下水道、河川等へ流入しないよう注意する。
- 二次災害の防止策：住民、交通機関等に影響を及ぼす可能性のある場合、関係官庁へ通報するとともに周辺地域の住民に直ちに警告し、危険地域から避難させる。  
排水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。
- 

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策：局所排気及び全体排気設備を設置する。  
保護具（ゴム手袋、長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する。
- 安全取扱い注意事項：アルカリ性を示すため、酸との接触、混合を避ける。  
粉塵又はミスト、蒸気を吸入しないこと。  
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
皮膚、眼への接触を避ける。  
取扱後はよく手を洗うこと。
- 保管
- 適切な保管条件：密閉し、直射日光を避けて冷暗所に保管する。  
酸性物質の混入を避けて保管する。  
金属類（アルミニウム、銅、合金類）から離して保管する。
- 安全な容器包装材料：製品使用容器に準ずる。（樹脂製）
- 

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度、許容濃度：設定されていない。
- 設備対策：局所排気及び全体排気設備を設置する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具：必要に応じてマスクを着用。
- 手の保護具：不浸透性保護手袋（ゴム製）を着用する。
- 眼の保護具：安全ゴーグル（眼鏡）もしくは顔面シールドを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具：不浸透性保護衣、ゴム長靴、ゴム前掛を着用する。
- 

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観
- 物理的性質：透明な液体
- 色：黄褐色

臭い	: わずかな特異臭
pH (25℃)	: 12.2±0.2 (100倍希釈)
比重 (25℃)	: 1.10±0.05
溶解性	: 水に任意に溶解

---

#### 10. 安定性及び反応性

危険有害反応可能性	: 自己反応性及び爆発性なし
避けるべき条件	: 酸との接触または熱を避ける。
混触危険物質	: 酸との接触や混合により、中和熱を発生する。 アルミニウム、銅および合金を腐食する。

---

#### 11. 有害性情報

\* 製品の有害性データを有しないため、主成分である水酸化ナトリウムのデータを以下に記載する。

急性毒性（経口）	: 情報なし (製品としては、計算上、ラット LD50 2,000mg/kgを上回るため区分5とした)
皮膚腐食性／刺激性	: 腐食性があり、皮膚、眼、粘膜を激しく刺激する。 ヒト皮膚に対して0.5%以上で刺激、重度の腐食を引き起こす報告あり。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 眼に入ると結膜や角膜が腐食され、視力低下や失明することがある。 ウサギ 眼 1mg/24H Severe
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: Ames試験 陰性
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: ヒト呼吸器、気道を刺激し肺浮腫を引き起こすとの報告あり。
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 情報なし

---

#### 12. 環境影響情報

\* 製品の有害性データを有しないため、主成分である水酸化ナトリウムのデータを以下に記載する。

生態毒性	
水生環境急性有害性	: 水生生物に有害 甲殻類(ネコゼミジノコ) LC50=40.4mg/L (48H)
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動度	: 情報なし

---

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 水で希釈し、必要に応じて酸（希塩酸、希硫酸等）で中和した上で廃棄する。 (水質汚濁防止法及び下水道関連法令の基準に注意)
汚染容器および包装	: 空の汚染容器を廃棄する場合、内容物を除去した後、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

---

#### 14. 輸送上の注意

##### 国際規制

IMDG（国際海上危険物規則）コード

国連番号 : 1824  
国連輸送名 : SODIUM HYDROXIDE SOLUTION  
国連分類 : 8  
容器等級 : II/III  
海洋汚染物質 : 非該当

ICAO-TI（国際民間航空期間技術指針）／IATA-DGR（国際航空運送協会危険物規則）

国連番号 : 1824  
国連輸送名 : SODIUM HYDROXIDE SOLUTION  
国連分類 : 8  
容器等級 : II/III

##### 国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法に従う。  
(危険物船舶運送及び貯蔵規則、第2,3条危険物告示別表第1  
腐食性物質)

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。  
(施行規則第194条危険物告示別表第1 腐食性物質)

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。

##### 輸送の特定の安全対策及び条件

: 直射日光を避け、容器の破損等のないように積載し、荷崩れ防止  
を確実に行うこと。  
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
重量物を上積みしない。

---

#### 15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 該当しない  
労働安全衛生法 : 法第57条の2（名称等を通知すべき有害物）  
毒物及び劇物取締法 : 該当しない（水酸化ナトリウム含有量が5%未満のため）  
水質汚濁防止法 : 法第2条の4、施行令第3条の3（指定物質）  
港則法 : 施行規則第12条 危険物（腐食性物質）

---

#### 16. その他の情報

##### 引用文献

- ・化学物質等安全データシート（MSDS）第1部：内容及び項目の順序（JIS Z7250:2005）
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）  
化学物質総合情報提供システム（CHRIP）
- ・日本化学会編 化学防災指針7 丸善（1980）
- ・化学工業日報社編 化学品安全管理データブック（1988）
- ・原料MSDS

##### 記載内容の取扱いについて

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。  
また、MSDS中の注意事項は通常取扱いを対象としたものです。  
製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品をご使用ください。  
また、当社は、MSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

---